

サプライチェーンマネジメント

方針

KDDI

KDDIのアプローチ(サプライチェーンマネジメント)

グローバル化が進んだ現代の企業活動では、世界各国の社会的な問題が調達活動にも影響をおよぼすようになってきています。

KDDIは、自社のみならず、サプライチェーンも含めてCSRの取り組みを強化していくことが、より持続可能な事業活動に結びつくと考えています。このような考えから、KDDIは、お取引先さまにおいても、人権や安全衛生の労働上の問題等が起らないパートナーシップ体制の構築を目指し、お取引先さまと協働・協力しながら、CSR調達水準のさらなる向上を目指しています。

方針

KDDI

KDDI CSR調達方針

社会インフラを担う総合通信事業者として、より高い水準で社会的責任を果たし、サプライチェーン上の調達リスクをできる限り回避するため、KDDIは、2014年2月、「KDDI CSR調達方針」を施行し、サプライチェーン全体のリスクの把握・マネジメントの強化を開始しました。この方針では、適切なサプライチェーンマネジメントとして、お取引先さまとの共存共栄、地球環境への配慮、人権・労働環境への配慮、公正・公平な取引、適切な情報管理、品質と安全性の確保および社会との共生の7項目を定めています。

お客さまにご満足いただけるサービスの提供、企業と社会の持続的発展をお取引先さまとともに達成するため、同方針にもとづく要請・支援をKDDIのサプライチェーン全体に拡げています。なお、KDDIは、新たにビジネスを開始するパートナーに対しては、取引先の規模、過去の経歴、信用状況、営業状況、財務状況等を精査し、一定の基準を満たす場合に、取引を行います。

 [KDDI CSR調達方針](#)

体制

KDDI


KDDIサプライチェーンCSR推進ガイドラインとCSR調達推進体制

KDDIは、調達方針を遂行するための指針となる「KDDIサプライチェーンCSR推進ガイドライン」を策定し、ホームページにて公開しています(日本語・英語)。ガイドライン策定にあたっては、EICC(Electronic Industry Citizenship Coalition)の行動規範や一般社団法人 電子情報技術産業協会(以下、「JEITA」)の「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」を参考に取組むべき項目をまとめ、お取引先さまや調達品選定の際は、品質・価格・納期・安定供給に加え、環境や社会への配慮を重視した判断基準としています。

また、高い倫理観を持って調達活動を行うため、全従業員を対象に、調達方針および調達ガイドラインや下請法遵守に関する教育をはじめ、各種コンプライアンス研修などを実施しています。

さらに、主要なお取引先さまに対しては説明会やアンケートを行い、CSR調達の重要性をご理解いただけるよう啓発・支援するとともに、課題や取り組み状況の共有をお願いしています。お取引先さまのコンプライアンス違反に対しては、原因究明と改善を求め、必要に応じて指導・支援を行います。

なお、KDDIは反社会的勢力との取引には、一切応じません。

 [KDDIサプライチェーンCSR推進ガイドライン](#)

 [グリーン調達の推進](#)

活動

KDDI

紛争鉱物への対応

米国政府は、米国上場企業に対して、コンゴ民主共和国などの紛争地域で産出される鉱物(以下、「紛争鉱物^(注)」)の製品への使用状況を開示することを義務付けています。

KDDIは、米国上場企業ではありませんが、調達活動における社会的な責任を果たすため、CSR調達アンケートによる調査等を通じて、お取引先さまと連携し、紛争鉱物の不使用に向けた取り組みを推進しています。

注 紛争鉱物とは、タンタル、ズズ、金、タンブステン、そのほか米国國務長官が指定する鉱物のこと

活動

KDDI

CSR調達の推進

■ お取引先さまへのCSR調達アンケートの実施

KDDIは、2014年度から主要なお取引先さまに対して「CSR調達チェックシート」によるアンケート調査を実施しています。

アンケート内容については、JEITAの「サプライチェーンCSR推進ガイドブック(チェックシート)」を参考に、人権・労働、安全衛生、環境、公正取引・倫理、品質・安全性、情報セキュリティ、社会貢献の7項目に、KDDIが独自に必要なと判断した項目を加えた130設問としています。2016年度は、全お取引先さまのうち、発注金額ベースで上位約9割の主要なお取引先さまに対して実施し、ほぼ100%の高い回答を得ました。

お取引先さまに確認が必要な場合は個別に詳細ヒアリングを実施し、2016年度は問題がないことを確認しました。上記のCSR調達アンケートの回答結果とは別に、CSR調達に関する意見交換と協力関係を深めることを目的に2社に対して訪問ヒアリングを実施しました。

サプライチェーンマネジメント

■ 産業廃棄物処理委託会社への監査の実施

KDDIは産業廃棄物処理委託契約を締結している産業廃棄物処理会社に対して、KDDI産業廃棄物処理管理ガイドラインに従い、定期的に委託先監査を実施しています。調査内容は、財務情報、体制、作業状況確認などで、2017年度は、CSR調達アンケートも併せて実施する予定です。監査終了後は、改善事項等を含めて結果をフィードバックし、是正が必要な場合には、アクションプランを作成し対応するよう依頼しています。

■ 携帯電話手分解作業委託会社への監査の実施

携帯電話手分解作業を委託しているリサイクル会社に対しては、年1回、現地確認を実施しています。2016年度については、東京、神奈川、大阪の各作業場所5箇所を対象に、作業所、保管場所のセキュリティを中心に監査を実施しました。監査結果は各委託会社にフィードバックし、是正が必要な場合には、アクションプランを作成し対応を依頼、一緒に改善の方法を検討する姿勢で臨んでいます。

方針・体制

KDDI

キャパシティビルディング

■ 従業員の調達・購買スキル向上

KDDIは、公正な取引と持続可能な調達の実現のため、さまざまな調達・購買スキル向上の取り組みを進めています。

対象	取り組み内容
全社員	下請法遵守や各種コンプライアンスの遵守の啓発活動の実施
購買担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新任購買担当者向け教育プログラム ・ 購買担当者向けコンプライアンス研修 ・ 調達プロフェッショナル認定者(CPP)・B級の取得推奨

■ auショップへの支援

auショップなどの販売代理店は、お客さまが実際にauと対面する場です。KDDIは、お客さま体験価値を提供し、お客さま満足度を最大化するためには、こうした販売代理店、なかでも専門店舗であるauショップのサービスレベル向上がもっとも重要だと考え、能力向上に向けた支援を行っています。店舗全体でのサービス向上においてはauショップスタッフの育成が欠かせないと考え、セールストレーニングを学ぶ集合研修、基礎的業務知識や新商品情報を学ぶeラーニングの実施など、auショップスタッフの学習が効率的かつ効果的に進められるよう工夫しています。またスタッフのスキルを評価する資格認定制度を導入しており、よりお客さま満足度の高いセールス力を評価する「auアドバイザー」「auマスター」「auエキスパート」を設け、プロフェッショナル育成を行うとともに、接客コンテスト「au CX AWARD」を毎年全国各地で開催し、優秀者の表彰と接客好事例の共有を図っています。auショップおよびスタッフのサービス水準については、本社専門部隊による店舗業務の改善、監査および監査結果にもとづくフィードバックの実施等を徹底し、一定水準以上の基準を担保するサービス管理体制を整えています。

体制

KDDI

インセンティブの付与

KDDIは、主要な販売代理店へのインセンティブとして、店舗の新設・移転時でのauショップ開設支援や、店舗運営に関する人員体制支援、各種研修や資格取得サポートなどを通じた販売スタッフの育成支援など、さまざまな営業活動支援を行っています。

非財務面においては、スタッフのモチベーション維持・向上に寄与する、接客コンテスト「au CX AWARD」や成績優良スタッフへの表彰、長期勤続表彰などを行っています。

活動・実績

KDDI

お取引先さまとのリレーションシップ強化

KDDIは、購買活動の取り組み状況をご理解いただくため、お取引先さまへの連絡会を開催しています。2016年度の連絡会には77社をお招きしました。当日はKDDIの置かれている状況の説明、取り組み事例の紹介をふまえて意見交換会を実施し、参加されたお取引先さまからは「忌憚のない意見交換ができて良かった」との感想をいただきました。

また、「企業倫理ヘルプライン」を設置し企業倫理や法令遵守の面でも、リレーションシップの強化を図っています。